

さんぽみち

鵜の木地区地域情報紙
平成20年7月1日発行 第54号

発行：わがまち大田鵜の木地区推進委員会

編集：鵜の木地区 地域情報紙編集委員会

事務局：鵜の木特別出張所 電話(3750)4241 FAX(3750)2418



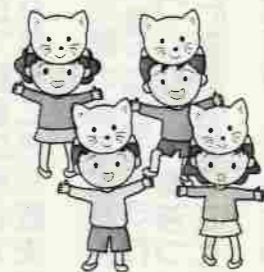
出張所だより

鵜の木特別出張所
所長着任のあいさつ

今年四月一日に鵜の木特別出張所長として職務に当たることになりました小泉貴一と申します。着任から3か月が経ちますが、地域の皆様には暖かく迎え入れていただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。

私は、三月まで障害福祉課の係長でしたが、ある日、視力障がいのある方から鵜の木地域の子どもの話をお話を聞いたことがありました。それは、その方が駅近くを歩いていたら、道路脇に置かれた自転車数台を倒してしまったときに「おじさん、僕たちが直すから大丈夫だよ。」と、近くの小学生達が立て直してくれたというものでした。

したが、縁あって、今その鵜の木地域に着任できたことをとてもうれしく思っています。今後この鵜の木のまちが、ますます素晴らしい地域となりますよう、皆様方と手を携え、力を合わせて全力で取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



鵜の木特別出張所管内の人口

男	10,778人
女	11,536人
計	22,314人
世帯数	11,657世帯

<平成20年6月1日現在>

地域の行事

- ☆七月二十六・二十七日 全国鵜の木まつり
- ☆七月二十九〜三十一日 鵜の木三丁目町会盆踊り
- ☆八月二十・二十一日 鵜の木(商店会)盆踊り
- ☆八月二十三・二十四日 鵜の木八幡神社盆踊り
- ☆八月二十三・二十四日 千鳥北町会本祭り
- ☆九月六・七日(予定) 鵜の木八幡神社祭り
- ☆九月十三・十四日 鵜の木二丁目町会 鵜の木三丁目町会 御嶽神社祭り
- ☆九月十三・十四日 千鳥南町会 御嶽神社千鳥分社例大祭

学校・地域・ふれあい

○嶺町小学校

PTA会長 貴志 麻子

地域の皆様には、日頃より嶺町小学校のPTA活動に御理解、御協力を頂き、心より感謝申し上げます。

近年、子ども達を取り巻く環境は一層厳しくなり、それとともに大人が協力して子ども達の成長を支えていくことが、不可欠となって参りました。

鵜の木地区の地域の皆様方には、安全を守るパトロールをはじめ、お祭りや町並み整備など「心」につながる活動にもご配慮頂き、人と人とのふれあいのあたたかさ、ましまりを感じます。

○千鳥小学校

地域の先生が一杯の学校
PTA会長 越野 明

嶺町小学校PTAは今後も多くの保護者、そして地域の方々にも参加して頂ける活動を目指して努力していく次第ですので、お力添えご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

千鳥小学校には、学校の先生とは別に、地域の先生がたたくさんいます。

お悔やみ申しあげます
本紙編集委員渡辺 光子様(千鳥南町会)におかれましては、かねて病氣療養中のところ薬石効なく、四月十八日に逝去されました。慎んでご冥福をお祈りします。

新任編集委員紹介
南久が原一丁目町会 青木 幸子
千鳥北町会 児玉 夷功子
鵜の木西町会 加茂 瑠美子(敬称略)

編集後記

現在の社会状況で最も大切なのは、大人と子どもたちとの心のふれあいだと思います。今回は、楽しい夏休みを目前に控え、小・中学校のPTA会長さんにご意見・ご感想を伺いました。

編集長 永田 清

残念なことに、学校の先生には人事異動があります。しかし地域には異動はありません。地域の先生方には、子どもたちの、千鳥小学校の『先生の先生』でいていただきましたと思います。

○東調布第三小学校

太陽のような子供
PTA会長 河津 修平

「太陽」
カルモチインの田舎は大理石の産地で
其処で私は夏をすごしたことがあった。

私にとって子供は、原始的風景にいて、無邪気でくたぐかない、つい目をとめて微笑がもれるような存在です。価値観が多様化してゆく中で、大人も子供も「コミュニケーションの大切さ」と難しさを感じています。

家庭と学校、そして地域とのふれあいの中で、情操豊かな子供が育つてゆくものと、私は思っています。

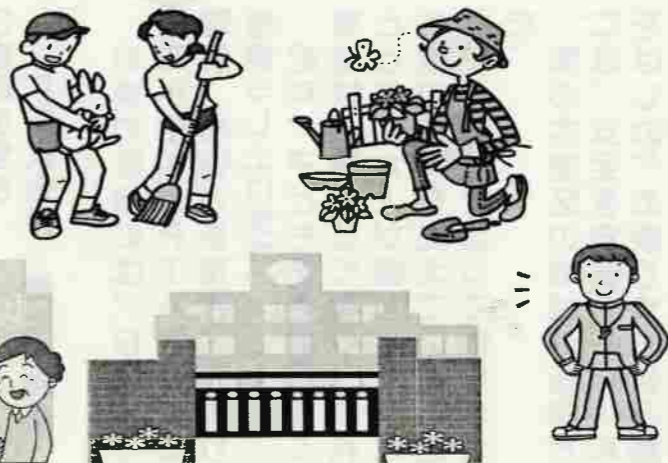
笑顔と輝きの絶えない子供が、この鶴の木地区のふれあいの中から、大きく夢を羽ばたかせていくことをお祈りしています。

○大森第七中学校
PTA会長 澄野華代子

「おはよう！」
「お帰り！」

と、本当によく声をかけてくださる地域で、あたたかいなあと感謝しています。「へ七中」という二文字がまるで合言葉のように、初めて会った方でも会話が弾む、本当に地域の方が学校を支え守ってくたさっている素敵な所だなあといつも思います。

先日『桜守り』という本を読みました。「桜を育てる桜守りは木をいじりすぎない。」



基本は放っておく。しかし目は放さない。細かく見ながら大きく任せていく。温かく見守り「育ててくる」のを信じて待つ。信じる愛情の深さの分だけ桜は根を張り伸び伸び育つ。「すぐく似ているな」とまた感謝の思いでいっぱいになります。ありがとうございます。

《消えた勇姿》

鶴の木駅の近くにある「鶴の木山公園」は昨年、河原坂から緩やかなスロープと手摺が完成し、お年寄りの方も楽に入れる様になりました。この公園は中央に広々とした草原が、周囲には、大きな松の木が、又桜の木も少しあり春には花見も楽しめます。以前は、この公園から冬のあいだ、西の方向に丹沢の山並の上に雪の富士山が眺められ、その景観は、素晴らしかったが、最近、川崎市の武蔵小杉に高層のマンションが七、八棟完成し、あの富士山は見えなくなってしまう。残念だけれど世の中の流れ、趨勢と言ってしまうえば、それまでだが！

鶴の木一丁目

久保田 健治



俳句

潮騒や 顔にかぶせし

夏帽子

われを見て 首傾けし

雨蛙

パールのの 日傘を差しつ

六本木

色色の 扇広げて

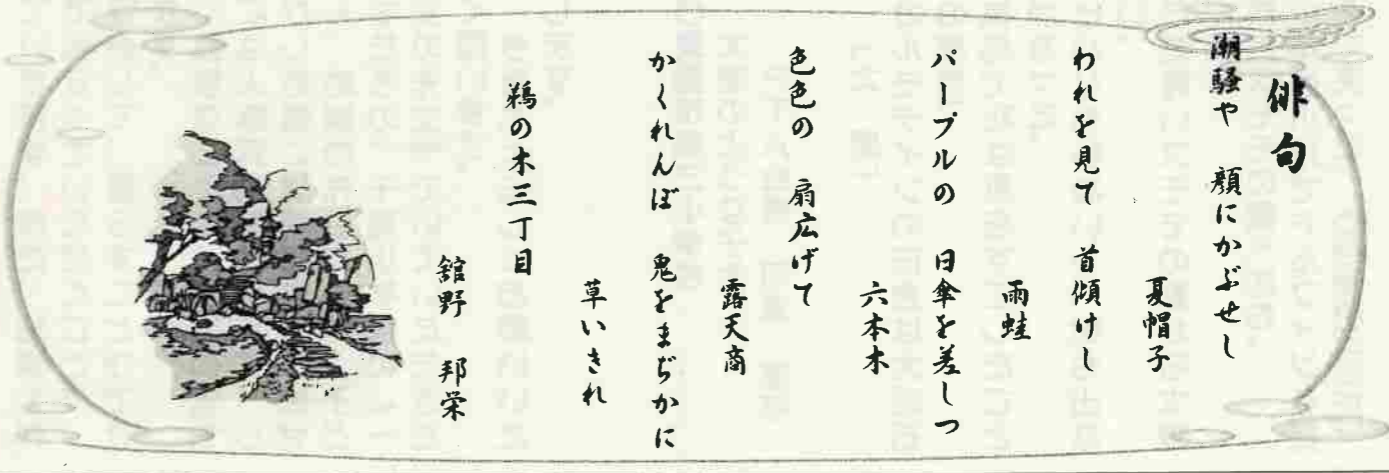
露天商

かくれんぼ 鬼とまじかに

草いされ

鶴の木三丁目

館野 邦栄



散歩してみませんか
—大田区内の都立高校周辺巡り— その五
都立美原高校

○美原通り
大森スポーツセンターから大森警察署前の交差点まで、旧東海道が続く。石碑には三原とあり、字名の南原・中原北原の三原であったが、美称して美原になった。商店街でベンチにもなるような石の置物が点々とある。

○都立美原高校

南高校と大森東高校が統合し、平成十七年四月に全日制普通科単位制高校として開校した。必修科目以外に「スポーツ」「生活・福祉」「文化・芸術・コミュニケーション」「情報・サイエンス」の科目群から、興味・関心のある授業を受けることができる。ホームヘルパー二級、漢検、英検、コンピュータ関連の資格取得のための授業もあり、進路実現、キャリア形成をサポートしている。

○大森海苔のふるさと館
平成二十年四月六日にオープンした。海苔づくりは今から

三百年ほど前、江戸時代に始まったといわれ、大森周辺は大きな産地として発展したが、沿岸の埋立て計画に際して、昭和三十八年春にその歴史を閉じた。

重要文化財の海苔生産用具や海苔船などが展示され、「乾海苔づくり」「海苔づくりの一年」などを知ることが出来る。

また、海苔づくりの体験企画もあり、応募方法など詳細は、区報に掲載される。

○大森ふるさとの浜辺公園
人口干潟、砂浜、釣磯場、自然広場などがあり、鳥や浜辺の生き物の観察や浜辺遊びができる。

〈美原高校所在地〉

大田区大森東一―三三―
京浜急行平和島駅徒歩七分
JR大森駅東口よりバス
「平和島駅」下車徒歩七分

鶴の木三丁目町会

田中 克美

南久が原一丁目町会

青木 幸子



平和の森公園、海苔のふるさと館、ふるさとの浜辺公園、美原高校はすべて隣接している。



リレーエッセー

私達の町には七十五歳以上の方が二百六十名近く住んでいます。毎年九月十五日の「敬老の日」に、七十五歳以上になられた方々を、十一月三日の「文化の日」に町会館にお招きして、「長寿のお祝」をしています。

三月の末には、広く呼びかけ地域の人や、元氣溢れる高齢者と小学生が一緒に歩く「歩こう会」を行っています。

その他に九月は御嶽神社千鳥分社の祭礼には、本祭り（大神輿・子供神輿）と、陰の祭り（盆踊り）等で、他町会とも交流を深め、地域の子供達の参加も増えていくよう努力しています。

後期高齢者医療制度や、年金問題など、複雑にからまつて分かりにくい社会ですが、戦後の混乱からこの町を、今のように安心して暮らせる町にして下さった、先輩方を尊敬し、大切に、子ども達の元気で明るい声が飛び交う町になるよう、これからも微力を尽くそうと考えています。

千鳥南町会

保苅 一興